



さいたま市PTA協議会

<HP> <http://www.saitama-city-pta.jp>

市P協

さいたま

No.7

平成17年3月5日

発行 さいたま市PTA協議会

責任者 会長・向江 正晃

印刷 関東図書(株)

メール hotline@saitama-city-pta.jp

TEL 048-647-4401

「優しさと輝き溢れる地域づくり・未来づくり」を目指して



今年度の役員等研修会は、さいたま市人権教育推進協議会等と共同開催しました。晴天にも恵まれ、会場には一千五百名を超える参加者の熱気に溢れていました。

初めに、会長から「子ども達の環境が脅かされている現在、学校並びに関係機関が協力を深め、地域ぐるみの青少年健全育成を目的とした連携が必要不可欠です。家庭・学校・地域が一致団結し、未来を担う子ども達のかけがえのない尊い生命を守るため、今、何をすべきかを考えていきたい。」と挨拶がありました。

続いて、人権啓発の人権標語と人権作文に入選した児童・生徒十九名の表彰式が行われ、子ども達の純粋な優しい心に会場から祝福の拍手が贈られました。

佐々淳行(ささあつゆき)氏
プロフィール



昭和5年生まれ。東大法学部卒業後、昭和29年警察庁入庁。以後、数々の事件を第一線で指揮。平成元年に退官。平成13年勲二等旭日重光賞。また、作家として、文藝春秋読者賞、菊池寛賞受賞。

講演会は、初代内閣安全保障室長の佐々淳行氏をお招きして、「子どもをまもる」と題してご講演いただきました。「危機管理」という言葉の生みの親でもある佐々氏の経歴に興味深く耳を傾けながら、社会情勢や世界を脅かしている危機等を知ると共に、改めて家庭教育の大切さを痛感することができ、大変有意義な講演会でした。



講演する佐々淳行氏

人権啓発講演会。
役員等研修会開催
 十二月十日(金)・さいたま市文化センター



今年度から各校専用クリアケースが使送便でPTA事務局と各校の間を行き来します

役員セミナー

7月10日(土)

市民会館おおみや 小ホール

〈内容〉

- ・白杵教育長講話
- ・市国際交流協会より
- ・市教育委員会より
- ・県P安全互助会より
- ・市P協より



今年度から企画したセミナーは、初めて役員を受けた人にもPTAを十分理解できるようにと、内容豊かに開催しました。

最初に、教育委員会が取り組んでいる「潤いのある教育」について、白杵教育長よりお話しをいただきました。

「潤いのある教育」は、人と人の関わりを大切にした教育のことです。学校・家庭・地域の繋がりを大切にして、子どもらしい豊かな表情をした人間に育てたいと、教育行政の根幹に据えています。中でも「書く活動」と「話す力(表現力)」を育むことに重点をおいています。まず「書く活動」は、相手を思い浮かべながら、自分が思っていることを正確に伝えるために、言葉や文字を選び、レイアウトしながら書く練習を積み重ねていく活動です。これを続けることで、子ども達の内面が膨らみ、情緒が豊かになります。そして「話す力(表現力)」は、これからの子ども達はデータを読み取り、自分で組み立てて伝えなければ生きていけない社会です。「自分の言葉で、相手に自分の気持ちを正確に伝える」これが基本です。



メモを取りながら聞き入る参加者のみなさん

この他にも、「自校式給食」・「図書館司書配置」・「中・高一貫教育」・「学校評価と地域の学校経営参画」・「特色ある学校作り推進事業」の五つを推進してまいります。明治以来、学校の役割は「子どもにしっかりと勉強させること」と「子どもを一人前の大人に育てる」の二つを原点としています。学校に対して厳しい目が向けられている今、きちんと役割を果たして参りますと、お話しをされました。

次に、国際交流協会の増岡様と伊藤様から「さいたま市における国際交流の現状等について」、また、生涯学習部振興課長の鶴田様から「さいたま市教育委員会について組織等も交えて」のお話しを、続いて埼玉県PTA安全互助会事務局長の森屋様から「県P安全互助会」最後に、市P協前会長の橋本様より「市P協について」それぞれ判り易くお話しをいただきました。

初めての試みとしては、参加者からの反応も良く、PTA活動に役立つように願っています。

2年目に入りました。
頑張っています。

みんなの区P

浦和区

委員会活動

より多くの会員が区P連に触れ、積極的に参画できるようにと、設立当初より2つの委員会を設けました。各校より委員として2名ずつ選出され、「総務委員会」と「事業委員会」に属します。また、両委員会とも十分な活動には到りませんが、11月に開催した「副会長交流会」では、司会・取材・記録と事業委員会のメンバーが大活躍しました。



副会長交流会では、司会・取材・記録と事業委員会のメンバーが大活躍しました。

北区

情報交換と相互交流

単位PTA同士の情報交換と会員相互の交流に重点をおいた活動を行っています。「校長・会長会」は学期毎に開催し、旗振りや防犯パトロール、110番パネル等の活動報告と今後の課題や問題点について有意義な意見交換が行われました。また、「会長・副会長会」も開催し、多くの会員と親睦を深める等、活動を通して子どもが安心して成長できる地域作りを目指しています。



問題点について有意義な意見交換が行われました。また、「会長・副会長会」も開催し、多くの会員と親睦を深める等、活動を通して子どもが安心して成長できる地域作りを目指しています。

緑区

あいさつと安全のバトンタッチ

発足以来“子どもの安全”に着眼した活動を進めています。防犯活動をテーマに「校長・会長合同研修会」を開催し、浦和東警察署や地域で防犯活動をしている方のお話を伺う他、各学校の防犯の取り組みについて意見交換をしています。今年度は、自転車の前かごなどに掲示する「巡回中カード」1500枚（各校100枚）を作成・配布しました。これからも子どもの安全確保のため、各学校とスクラムを組んでいきます。

**安全パトロール
巡回中**
緑区PTA連合会

今年度は、自転車の前かごなどに掲示する「巡回中カード」1500枚（各校100枚）を作成・配布しました。これからも子どもの安全確保のため、各学校とスクラムを組んでいきます。

中央区

『合同研修会』—成人教育委員会—

11月16日に、NHKTV「おはよう日本」の気象予報士の村山貢司氏をお招きして、『地球温暖化と私たちの暮らし』と題して講演会を開催しました。

昨年は各地で異常気象による被害があり、温暖化のメカニズムについて、スライドを使いながらとても分かり易い話しに興



味深く聞き入り、温暖化防止を身近な問題として捉え、省エネルギーを見直す良い機会となりました。

ミニミニ情報
各区で開催されている会議で、区長を始め、自治会等地域の方が集まり、区の問題点や方向性について話し合いが行われています。各区会長も参加して、PTA代表として意見を述べています。自分達が住んでいる区をより良い場所にするために、ご意見・ご要望がありましたら、各区会長までお寄せ下さい。子ども達も安心して生活できる地域作りに参加しましょう。

桜区

子どもが安心して生活できる環境作り

“子どもの安全をまもる”をテーマに、当区P連では「子どもが安心して生活できる環境」を作るということを考えています。各学校単位の要望書をまとめたり、地元自治会や育成会と連携を計り活動をすすめています。



校長・会長研修会では、群馬大学社会学部大学院教授の下田博次氏をお迎えし、『IT時代の大人の責任～インターネットの危険な出会いを防ぐ力を育てる～』という題目で講演をいただき、参加者全員で討論を交わしました。

教育旅行のプロがお世話する国際交流 **超**おすすめ企画

オーストラリアのあたたかな人達と生活をともにし、異文化を体験します。平日は現地の小・中学校へ通学し、英会話の授業やアクティビティー等を体験。

オーストラリアの子供たちと国際交流・学校体験

【旅行代金】お一人様 288,000円 【募集定員】30名 【最少催行人員】20名 【添乗員】成田空港より全行程同行

【対象学年】平成17年度小学校新5年生～高校新1年生

【旅行日程】平成17年7月26日(火)～8月4日(木) 10日間

【申込期間】平成17年3月1日～5月20日(5月20日の消印有効)

【申込方法】官製ハガキ・FAX・eメールのいずれかの方法で保護者の方がお申込みください。(次の6項目が必要です)

①保護者氏名 ②参加生徒氏名(ふりがな要) ③性別・生年月日(和暦) ④新学年の学校名と学年

⑤郵便番号・住所・電話番号⑥参加を希望される目的や意思をお書きください。

【決定連絡】先着順に決定いたします。第1回説明会は6月上旬に予定しております。(詳しくはメーチェ後にお知らせします)

【旅行主催】近畿日本ツーリスト株式会社 埼玉教育旅行支店 (一般旅行取扱主任者:露木 成仁)

【旅行条件】詳しい旅行条件を説明した書面をお渡しいたしますので事前にご確認の上、お申込みください。

【お問合せ・お申込み先】〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町3-13-2日本生命大宮ビル1階 近畿日本ツーリスト(株) 埼玉教育旅行支店 国際交流係宛て

TEL048-641-7015 Fax048-641-7009 eメール:saitama-kyoiku@or.knt.co.jp 担当者:永瀬・内村



都市名	スケジュール
① 成田空港	夕方:空路オーストラリアへ(機内泊) 午前:ブリスベン空港着 市内見学後、学校へ(専用車)
② ブリスベン空港	学校にてオリエンテーション ホストファミリーと対面 各家庭へ(ホームステイ)
③ ↓	午前:英語のレッスン 午後:アクティビティー
④	週末:ホストファミリーと一緒に 最終日:さよなら会(ホームステイ)
⑤	朝:午後:学校から空港へ(専用車) 空路、帰国の途へ(機内泊)
⑥ 成田空港	朝:午前:昼頃:成田空港着



ISO 14001 総合旅行会社で初めて
JQA-EM1746 ISO14001認証取得

連白慢

今年度特に力を入れた活動を紹介します 知って下さい!見て下さい!活かして下さい!

「区P連、更なる飛躍へ」

さいたま市PTA協議会
会長 向江 正晃

政令指定都市として、九つの区連合会が誕生してから、まもなく丸二年を迎えようとしています。当初は試行錯誤の連続でしたが、今では各区の特色を生かした積極的な活動を行い、素晴らしい成果を上げています。これもひとえに発足よりいただいております。会員の皆様のご支援・ご協力の賜物と心より感謝を申し上げます。

さて、まさに三年目の節目である来月、四月一日に岩槻市と合併により、さいたま市に新たな個性と魅力が加わるのはいままでもありません。

そして、合併に伴い岩槻区連合会が立ち上がることになり、さいたま市PTA協議会は、十区連合会で再スタートをします。共に交流を図りながら、優しさと輝き溢れる地域づくりを実現し、子ども達の希望に溢れる未来を目指して、日々の活動に取り組んで参りたいと思います。
役員一同、皆様のご期待に応えるべく努力して参りますので、更なるご理解・ご協力をお願い申し上げます。



岩槻市PTA連合会 小島信昭会長と固い握手
(10/25事務局にて)

大宮区 各校PTAの組織財政を考える

平成17年1月13日、役員セミナーとして「各校PTAの組織財政を考える」というテーマで研修を行いました。100名を超える各校役員参加のもと、活発に各校の規約・予算案について意見交換をし、有意義な時間を過ごしました。



また、校長・会長合同研修会を開催する等、区内各校の連携を図り懇親を深めて、更なる発展を目指して参ります。

西区 小中学生夏休み作品展

連合会創立以来、毎年10月に学校・PTA・区が共に協力して、子ども達が「夢と希望」を持つ機会を作ろうと『小中学生夏休み作品展』を開催し、絵画・工作・写真の150点を区役所で2週間展示した。区内各校5名の投票により、会長賞、金・銀賞が選ばれ、校長会、区長、埼玉新聞より特別賞が決定された。



表彰式で、子ども達のキラキラした瞳が印象的でした。(作品は、ホームページで見られます。)

南区 防衛用具「さすまた」配布

特色として、地域のまとまりと愛着を旨とする区と同じ価値感で事業を行っています。そのひとつに、学校内の安全を考えて区内小・中学校全20校に1本ずつ「さすまた」を配布しました。保護者へ発信する事業であると同時に、各校の様々な事情・環境を越えて、安全への共通認識及び学校への関心、区P連としての自覚を新たにしている意味では一石を投じたものと思います。

見沼区 『えびっ子ランド』—海老沼小学校—

子ども達に活動の場を提供し、先生・保護者・地域の方々がコミュニケーションを図ることを目的に『えびっ子ランド』を実施しています。3年目の活動で、年7回、土曜日の9時半～12時に校庭と体育館を開放し、毎回250名程度が参加しています。

毎回スローガンを設定し、季節に応じた伝承遊びやボランティアによる工作、読み聞かせ等、多くの意見を取り入れながら様々な遊びができるように工夫しています。また、子ども達が自由に遊べるスペースも確保して、自発的な活動もできるよう配慮することにより、年齢・世代を超えた交流が広がり、遊びを通して社会性やマナーが身に付き、柔軟な発想で遊ぶことで自主性が養える場となっています。



さいたま市内の国立・市立小中高・養護学校へ通っている児童・生徒の皆さんの事故を24時間幅広く補償します!

さいたま市PTA協議会 「児童・生徒ワイド補償制度」 加入受付中!

(団体傷害総合保険)

毎年、多くの方々に新規ご加入いただき、 現在では11,700名の生徒の皆様にご加入いただいております

補償制度の特長

1. 一般加入と比べて44%割引のお得な保険料
2. 学校管理下・管理外を問わず「24時間補償」
3. 傷害補償は、入院・通院とも「1日目から補償」
4. さらに入院は「1000日まで補償」
5. 加入児童・生徒の扶養者に万一のことがあった場合の「育英費用補償」
6. 加入児童・生徒がストーカー犯罪やひき逃げ事故に遭われた場合の「被害事故補償」

いつでも
ご加入いただけます!
(年間保険料3,000円から)

※本広告は制度の概要のみを記載したものです。ご契約に際してはパンフレットをご参照ください。

さいたま市PTAホームページ <http://www.saitama-city-pta.jp>

当制度のお問い合わせ先・パンフレット請求先

さいたま市PTA協議会「児童・生徒ワイド補償制度」係
(事務局)さいたま市大宮区大門町3-1 大宮区役所東館1F
取扱代理店:有限会社池田保険事務所
〒336-0932 さいたま市緑区中尾1424
【お問い合わせ先】 TEL:048(875)9133
FAX:048(810)1502

引受保険会社:株式会社損害保険ジャパン(幹事会社)

埼玉支店さいたま総合支社販売推進グループ
さいたま市大宮区桜木町4-82-1 TEL048(648)6063
AIU保険会社 東京海上日動火災保険(株)

各地へ足を運びました

各研究大会報告

日本中のPTA会員と共に
躍進する市P協です。



全体会で講演する秋山仁氏（数学者）
「教育観とは親が持つ“人間の幸福観”である」

豊かな自然に恵まれた土地柄を活かし、自然との共生を主とした情緒・感性豊かな子育ての実践を聞くことができました。その中で、食育と同時に木育の提言があり、自分の木探し“が大地で出来る素晴らしい感じを感じました。全体会では、秋山仁氏から親の規範意識・生活態度・子育ての姿勢を改めて指摘していただき、また、子どもをのびのびと褒めつつ認めつつ育てる大切さを提言されました。全国から集まった七千人の盛んな拍手で幕を閉じました。

第52回
日本PTA全国研究大会
北海道大雪圏大会
8/27・8/28
〈大会テーマ〉
厳しく優しい大地に抱かれ
共に学び 共に育つPTA

大雪圏大会は、“カムイミントラ（神々の遊ぶ庭）”で、本物の雪だるまが出迎える中開催されました。

第60回政令指定都市PTA全国研究大会

大阪大会

10/14-15

〈大会テーマ〉
命の尊さが重視される中、子どもの安全を守り、たくましい精神力と創造性を持つ子どもを育むためのPTAはいかにあるべきか

晴天の中、十三都市より百五十名が参加し、PTAの組織と運営・生涯学習活動・地域社会・広報活動の四分科会に分かれて、指定都市大会が開催されました。第三分科会では、市P協の栗原副会長・篠原理事・教育委員会生涯学習振興課鶴田課長の三名が、緑区の子どもの安全対策としての試みについて発表しました。

大都市が抱える子ども達を取り巻く厳しい状況にPTAとして何が出来るのか、他の都市との活発な意見交換の場となりました。



「あいさつと安全のバトンタッチ」と題して発表する栗原氏・篠原氏・鶴田氏

全体会では、人形浄瑠璃文楽太夫重要無形文化財の竹本太夫氏による記念講演「文楽の情を語る」を伺うことができました。

第36回日本PTA関東ブロック研究大会

新潟大会

10/15-16

～育てよう 愛ある子ども 夢ある子ども～

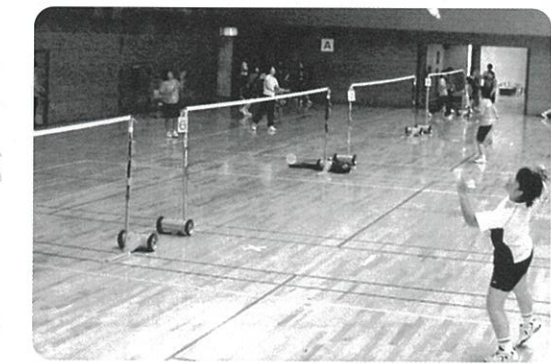


「ITでサラリーマンにも開かれたPTAとHP若葉マークのさいたま市の試み」を提言する清宮氏

秋晴れの美しい空の下、メイン会場に新潟大会が開催されました。さいたま市から校区大久保東小学校の古屋かなめ先生が第八分科会において国際理解・交流活動をテーマにした研究発表をされ、会場から高い関心が寄せられました。また、第六分科会のフォーラムで市P協理事の清宮輝雄氏が、ITを活かした広報活動について提言を行い、パネルディスカッションでは、活発な意見交換がなされました。



「広い視野を持ち、共に生きる心豊かな東っ子の育成」について発表される古屋先生



バドミントン大会
6/29（火）大宮武道館

「市P協は各種大会・発表会を応援しています!!」

- サークル活動の条件—
- ①PTA活動の一環として規定されている
- ②PTA会員が過半数のもの
尚、実行委員会を組織し、自主運営されています。

ありがとうございました

昨年七月の新潟豪雨災害へ、七八万九千九百十六円の義援金が集まり、被害に遭った家庭に贈られました。また、十一月の新潟中越地震においても、一七七万八千五百九十五円の義援金をお寄せいただきました。皆様の温かい志に感謝申し上げますと共に、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

〈お詫び〉

第6号の役員名に記載漏れがありました。副会長鈴木一夫（大原中T）「深くお詫び申し上げますと共に、訂正をお願いいたします。」

サークル活動



コーラス祭
1/30（日）ソニック小ホール



卓球大会
1/14（金）浦和駒場体育館

編集・集・後・記

“不易と流行”の間で常に悩み続けるPTAのささやかな一助になればと願っています。

（原口・境野・新田・小寺）